

2016～2017年度 委員会活動計画

委員会	担当副委員長	事業計画目標
古川大介 S A A	藤田貴子	<p>クラブの品位を保ち、活気あるクラブの運営の一助となるよう努力したい。</p> <p>欠席、早退、遅刻の防止を考え、ニコニコの管理、募金状況の報告等にも努力する。</p>
クラブ運営常任委員会 小阪大輔	親睦活動 佐々木隆幸	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月行事として誕生日・結婚記念日・入会記念日それぞれの披露とお祝いを行い、会員相互の親睦を深める。 ・年間行事として、会員相互の親睦を深めるとともに、より多くのご家族の方々に参加いただけるように、夏（サマーナイト BBQ）冬（クリスマス）春（どこか観光）を企画する。
	プログラム 藤松功治	<ul style="list-style-type: none"> ・月最低1回は30分卓話を行う。 ・なるべくたくさんの方にあたるようにする。 （昨年未卓話、入会歴浅い人 優先） ・年5回程度、外部卓話（高槻市に関連のある方）をいれる。 ・国際奉仕（フキビソウ訪問）、青少年奉仕（インターアクト）、社会奉仕（いのちキラ）等の活動報告をしていただき、奉仕活動内容を共有する。 ・年2回程度、地区委員長会議の報告をしていただき、地区の方針等を共有する。
	会報・広報 山室匡史	<ul style="list-style-type: none"> ・会報はメールにて送付（ペーパーレス）。希望者には従来通りペーパーを渡す。例会時には鏡ページを配布。 ・広報は、各委員会の活動を報告いただき、ロータリーの友への投稿やHPへも掲載を行う。
クラブ組織常任委員会 伊藤智秋	会員増強 藤田芳一	<ul style="list-style-type: none"> ●現在、高槻ロータリークラブ会員数50名であるが、将来的に60名を目指し、増強を図る。 ・退会者の後継者に声をかける ・他団体のOB ・例会に誘う ・全会員が常に気に掛けるようにする （状況を話すことで会員増強に意識を高める） ・他団体の名簿を例会場に設置する ・勧誘上手な会員の体験談を聞く ・「ロータリーの友」を贈呈する （¥200+¥86）×15名×12ヶ月＝¥51,480.- ・2人3脚例会の実施
	選考・分類 大木城司	<ul style="list-style-type: none"> ●未充填職業の充填。 ●退会者防止を強化する。 ・疎外感を感じていそうな人をみんなで囲む ・マンツーマンリーダー <p style="text-align: right;">(予算): 100, 000円</p>

委員会	担当副委員長	事業計画目標
清水利男 クラブ研修委員会	R情報・雑誌 羽根田茂子	①「ロータリーの友」を配布し、会員のロータリー活動に対する意識を高める情報を提供する。 ②情報集会を年4回程度開催し、ロータリー活動に対する知識情報を提供し、会員の自己研鑽に役立ててもらおう。 ③社会、青少年、国際、職業、クラブ組織等の委員会等と連携し、奉仕活動について会員各自の自己啓発を図る。 ④新入会員候補者にロータリーについての情報を提供し、入会の援助をする。 ⑤新入会員のみならず、中堅会員、ベテラン会員に共通することとして、高槻ロータリークラブの組織を維持する為の知識を持ってもらう情報を提供する。また、ロータリアンとしてロータリー精神（奉仕の理想）を実現するような知識情報を提供したい。 ⑥国際ロータリーの規定規約の改定に適応するとともに、変更事項を会員に知らせる。（規定審議会は2016年に行われる） (予算): 190,000円
	研 修 長井正樹	
	規 定 田淵謙二	
小山彰夫 職業奉仕常任委員会	内 西田直弘	<p>昨年、日本を訪れた外国人観光客は2,000万人に迫り、また、無形文化遺産認定を機に世界的に高まる「和食」の人気に加え、日本酒・日本産ウイスキーもまた世界各国にて人気を博しており、インバウンドの増加と共に日本のサービス・飲食業や日本の酒の輸出入も注目されることが予想されています。</p> <p>世界中から評価される理由は「料理」「酒」「器」等と日本食文化を形成するすべてに日本人がもつ繊細さと苦勞を惜しまず手塩に掛けることを大切に「手仕事」から生み出される点にあります。</p> <p>そこで当委員会では飲食にスポットをあて、日本人として、そして飲食業界に従事する者の責務として、海外のお客様をはじめとする多くの消費者の期待を裏切らないよう、日本の食文化の素晴らしさを再度認識する為の柔軟な提案ができる場を設け、日本人自身のさらなる啓蒙に務めてまいりたいと思います。</p>
	外 坂野信一	活動計画 ①毎月第1例会日に会員の創業記念を祝福する。 優良従業員表彰を年1回実施する。 ②工場見学 サントリー山崎工場 その後のウイスキーについて ③和食を楽しむ、洋食を楽しむ それぞれ1回予定 ④外部卓話 金田会頭（高槻市観光協会会長） 高槻の発展を願って、高槻の観光ビジネスについて
		(予算): 270,000円

委員会	担当副委員長	事業計画目標
社会奉仕 佳弘 石田佳弘 委員会	教育 稲富博文	いのちキラキラ食裁プロジェクト 公立系は安定しているので高私立で展開 同園で展開するかは委員会で検討 薬物乱用防止啓発活動 2016年8月6（土）・7（日）高槻祭り時 阪急高架下にて 啓発活動実施
	環境 松下喜八郎	高槻シティ国際ハーフマラソン支援活動 活動内容は委員会にて検討 熊本大分災害復興支援 他クラブとの連携調節 (予算): 400,000円
国際奉仕 厚男 石田厚男 委員会	国際交流 篠原光子	テーマ:国際奉仕交流を通じて世界平和に貢献する。 <ul style="list-style-type: none"> ・友好クラブのマレーシア・ブキビンタンRC (RCBB) との姉妹クラブとの締結を行う。 ・RCBBのデング熱撲滅の為の支援活動を行う。 ・当クラブの「いのちキラキラ」に参画してもらう。 ・より多くの会員にRCBB会長就任式に補助金を出して出席してもらう。(特に入会3年以内の会員) ・相互訪問を通じ、当クラブの国際化を推進する。
	R財団 井前憲司	<ul style="list-style-type: none"> ・一人あたり\$160以上の寄付を達成する。 ・R財団寄付の呼びかけを行う。 ・財団100周年記念事業に参加する。
	米山奨学 西本恵美子	<ul style="list-style-type: none"> ・10月の米山月間に寄付を積極的に呼びかける。 ・一人当たり20,000円以上の寄付を達成する。
		(予算): 600,000円

